

# 第36回福島県ミニバスケットボール優勝大会

## 【新型コロナウイルス感染症に対応した大会ガイドライン】

福島県バスケットボール協会U12部会

令和2年12月5日

以下の項目を実施しても感染リスクをゼロにすることはできません。主催者である我々はもちろん参加チーム、保護者、審判員、そのほか全ての皆様に、この点を十分理解した上で参加いただくとともに、特段のご協力をお願いいたします。

\*基本方針 福島県および JBA ・ FBA のガイドラインに沿って実施します。

### 1 大会前の対応

- (1) FBA 及び地区協会へ実施について知らせ、実施要項を提出する。
- (2) 大会参加者は、主催者が示した「ガイドライン」・「チェックリスト」等を遵守すること。
- (3) 今大会は**無観客**での開催とする。会場に入場できる者は、参加チームの選手・チーム責任者・スタッフ・チーム引率者及び大会役員、審判員、MC,報道関係者のみとし、かつ大会当日に「健康チェックシート」を提出し受理された者のみとする。それ以外の者は会場内立入禁止とする。  
※12月5日現在、チーム引率者は5名以内とする（未就学児童は含まない）。  
(5名の内訳はカメラ撮影者、コロナ対策員)  
※今後、感染状況によっては**チーム引率者人数**の変更があり得る。
- (4) チーム責任者は上記(2)、(3)を関係者に周知する。
- (5) 大会参加者の健康状態等を把握するため、大会参加者全員に「健康チェックシート」の提出を求める。必要事項を記入し、大会当日、忘れず持参すること。  
参加チーム責任者は、大会当日、チーム全員の「健康チェックシート」を集め、受付に提出すること。
- (6) 大会前2週間以内に発熱(37.5℃以上)があった場合の対応について
  - ① 日常的に発熱(37.5℃以上)がある場合、「通院する」ように促す。
  - ② 大会当日発熱(37.5℃以上)があったり、体調がすぐれない場合は大会参加を見合わせる。
  - ③ 2週間の期間中に発熱(37.5℃以上)があり医療機関を受診し、医師からの指示があった場合には健康チェックシートの「チェック項目⑨ その他(自由記述)」の枠に内容を記入する。また、診断書の提出すること。

例1：○月○日通院「自宅療養をして1～2日で熱が下がれば問題なし」と言われた。

例2：○月○日通院「胃腸炎による発熱」 など

- ④ 2週間の期間中に発熱(37.5℃以上)があったが医療機関を受診していない場合は、大会参加は認めない。

## 2 大会中の対応

※参加チーム関係者、大会役員、審判、MC 全て、入場者は必ず大会関係者で有ることが分かるネームを入場時から退場時まで付け常に見える状態とする。(選手、保護者等を明記)

※入場者全てチェックシートは入場時受付に提出し入場の可否を判断。

### (1) 健康チェックシートの取り扱いについて

#### 1) チーム責任者

- ① 大会初日の集合時、会場の外でチーム全員の健康チェックシートを集める。その際、チームメンバーの体調観察及び健康チェックシートの確認(発熱、記入漏れや不備)をする。
- ② 当日、受付にて発熱(37.5℃以上)があった場合は、当該チームの大会参加を認めない。
- ③ 健康チェックシートの起床時体温の発熱(37.5℃以上)に赤丸をつける。
- ④ チェック者(赤丸や自由記述がある者)のシートを束の上部に集める。
- ⑤ 受付時にチーム全員分をまとめて表紙に必要な事項を記入のうえ、受付担当者に提出する。
- ⑥ 翌日に試合がある場合は、初日解散前に主催者からシートを受け取る。チームメンバーに再配付し、2日目の記入、提出の指示をする。
- ⑦ 2週目は、同様に①～⑥を行う。

#### 2) 大会役員、審判員

大会役員・審判員・補助役員は各会場入口受付に提出する。

#### 3) 主催者

- ① 会場作成者は会場入口付近に『チーム受付ブース』を設置し、受付担当者(役員)を配置する。
- ② 受付担当者は受付ブースでチーム責任者から提出された健康チェックシートを確認し、確認印(orサイン)をする。
- ③ 受付担当者は確認後にチェック項目がない者に参加可能の指示をする。
- ④ チーム責任者とチェック項目がある者を呼び、「チェック項目①～⑨」の確認作業を行う。問題がなければ参加可能を指示し、問題がある場合は帰宅を促す。
- ⑤ 2日目以降に試合があるチームの健康チェックシートは当該チームの解散前に受け取りに来たチーム責任者に返却する。
- ⑥ 主催者は試合が終了したチームの健康チェックシートを保管する(3か月)。

### (2) 受付、入場について

- ① 受付・入場は試合日程表に記載されている時間厳守とする。
- ② 第2試合以降のフロア(ベンチ)への入場時間は消毒作業が終了し、前試合のチームがフロアを出た後とする。前試合が遅延した場合は、消毒作業終了後に入場とし、入場後30分後に試合を開始する。

- ③ 第1試合のTO・MCの補助役員（出場するチームが担当する場合もある）は20分前に受付をし、入場する。
- ④ 再入場や遅れて入場をする際は、入り口受付にてIDの確認にて入場を許可する。

### （3）会場内

- ① コート上を除くすべての方がマスク着用をすること（各自準備する）。屋外で2m以上の距離を保てる環境下ではこの限りではない。
- ② こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ③ 様々な場面において、他の参加者等との距離を十分確保すること。
- ④ 昼食をとる場合は、距離を十分とって対面を避けて食事すること。
- ⑤ **引率者はギャラリーに指定された場所でのみ観戦可能とする。**
- ⑥ 更衣室の使用については主催者の指示に従い、密にならないようにすること。
- ⑦ 荷物、下足は各自が持ってフロアに入場する。
- ⑧ 前試合のハーフタイムのW-upは行わない。屋外でのW-upを原則とする。  
屋内施設でのW-upをする場合は、主催者が指定した場所のみ使用可能とする。  
使用後の消毒作業はチームの責任で行う。
- ⑨ 試合が2試合あるチームはフロア、ギャラリー以外で待機し、不要な接触を避けること。（円陣、握手、ハイタッチ等）
- ⑩ 会場内は一方通行とし、設置した案内表示に従い通行すること。緊急時や変更が発生した場合は大会役員の指示に従い通行すること。※勝手な行動をしていた場合は退場していただきます。

### （4）試合

- ① 指導者・スタッフ・ベンチに座る選手は、マスク着用すること。マスクの管理は各自が責任を持つこと（保管用のビニールを準備する、番号・氏名を記入するなど）。
- ② プレー以外の円陣、握手、ハイタッチ、抱擁等の不要な接触を避けること。
- ③ タオル、ボトル等、すべてのものを共用しないこと。
- ④ ベンチでは可能な限り間隔をとって着席する。
- ⑤ コート上でのチームメイト、審判員との会話の際の距離についても留意する。
- ⑥ 試合前、試合後の審判、相手ベンチへの挨拶はキャプテンのみとし、握手は行わない。
- ⑦ アップ時や試合中にチームで統一されたかけ声や応援は控える。
- ⑧ 試合が終了し選手退場後に、チーム責任者が責任をもってチームベンチエリア内の消毒を行う。  
ギャラリー（観客席）も同様に消毒を行う。  
各チームは消毒に必要な物品（アルコール消毒液、ペーパータオル、使い捨て手袋、ゴミ袋）を準備する。消毒作業で出たごみは各チームで持ち帰る。）
- ⑨ 試合のビデオ撮影試合をする場合はギャラリーの指定された観客席にて着席した状態で撮影する。
- ⑩ 応援は鳴物等の使用を禁止、声を出さずに拍手でお願い致します。

(5) TO、MC について

- ① TO 席は長机 2 つを配置し、TO 4 名が可能な限り距離をとって着席する。
- ② TO、TO 主任、MC はマスクを着用する。
- ③ 試合終了後、スコアラー以外はスコアシートに速やかにサインをする。スコアラーのみステージに残り（または本部控室に行き）、スコアシートを完成させて提出する。
- ④ 試合終了後、スコアラー以外の TO を担当したものは TO 席、TO 操作盤、筆記用具、MC 席、モップの消毒を行う。この消毒作業に必要な物品は大会主催者が用意する。

(6) その他

- ① 大会役員、チームスタッフ以外は敷地内駐車禁止とする。車両の乗り入れは送迎乗降時の停車のみに限る。
- ② ごみは、各自責任をもって持ち帰ること。
- ③ 手洗い、手指消毒等の注意喚起掲示をする。
- ④ 手指消毒液、ペーパータオル等の設置をする。大会主催者が準備し、会場責任者が設置する。
- ⑤ 会場備品、ドアノブ、トイレ等の消毒を 1 試合おきに行う。大会役員が行う。
- ⑥ 窓・ドアの開放や大型扇風機の利用等で可能な限り換気を促す。
- ⑦ 試合、TO、役員業務が終了した参加者は速やかに帰宅する。
- ⑧ 役員、審判員の飲料等は各自準備する。
- ⑨ 審判は原則 1 試合とするが、2 試合の割り当てとなる場合もある。

※ 主催者側でも常設しますが、除菌シートやアルコールスプレーの持参の協力を依頼する。

3 不測の事態の対応 不測の事態の対応

(1) 棄権チームについて

体調不良者が原因で人員不足となり出場不可となったチームは「棄権」となるが、処分の対象はしない。

(2) 休校等の出場について

- ① 休校中の学校の選手は、出場不可となる。
- ② 学級閉鎖の場合は、その学級に在籍する選手は出場不可となる。
- ③ 学年閉鎖の場合は、その学年に在籍する選手は出場不可となる。

(3) 大会期間中に参加者に感染者が出た場合

感染者発覚の時点で、大会は中止とする。速やかに県協会 U12 部会事務局長連絡すること。

**大会中止の場合、全国大会・ブロック大会出場チームは、県の「推薦」にて決定する。**

(4) 大会後 2 週間以内に参加者に感染者が出た場合

速やかに県協会 U12 部会総務委員長に連絡すること。

連絡先：福島県バスケットボール協会 U12 部会

総務委員長 菅野 孝三 090-2887-4026